

(第三種郵便物認可)

【大阪】越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)では、将来を見据えて若手社員が入社しやすい環境を整えるために中型免許取得補助制度を導入した。

同社では、現行の準中型免許で乗れるトラックがなく、中型免許取得補助制度を導入して若手を雇用できる環境を整えている。

越野社長は「社員の平均年齢が年々上がってきている中で、即戦力も必要と考えている。新たに入社する人材は、先を見据えて若手の雇用に取り組んでいる」と話す。「自分の代は現状のメ

## 先を見据えて若手を雇用

### 越野運送 中型免許取得の補助制度

ンバーで大丈夫だが、10年後を見据えた時、今から若手を採用して育成する必要はある。後継者の代に一緒になって会社を盛り上げてくれる人材を今から雇用していかないと間に合わない」と考えている。

現在20代30代の若い方や柔軟な考えが10年後には必ず必要になってくると考え、年間2人の純増を目標に半年に1人のペースで採用するように活動を進める。

今年の4月に入社した新入社員の採用から募集方法を変更し、現在28歳の若手社員が入社している。「リスクも考えなが

ら前向きに取り組んでいかないといけない。その中で28歳の若手社員を同制度で採用した。現在、グループ会社の仕事をしながら中型免許取得に向

けて働いている。今後は高卒の採用も考えている」と語る。同社長は「10年後、中心メンバーになれる人材を今から育てられるよう

新社員と並ぶ越野社長 (左)



にしていきたい。将来を見据えながら若手を採用している。とりあえず挑戦し、ダメな時は考え直して次の取り組みをすればよいと思っ

(中村優希)